

霧多布地区コミスクだより



第3号

2021.12.22

Kiritapputiku CS Report No.3

今年度の第3回学校運営協議会を11月25日に開催いたしました。当日の様子や協議の内容についてお伝えいたします。

第3回学校運営協議会開催

- ・日 時：令和3年11月25日（火）
18:00~19:00
- ・と ころ：浜中町立霧多布小学校 会議室



第3回学校運営協議会では、前回9月21日に実施された第2回学校運営協議会以降の「経過報告」「小中学校の具体的な活動推進状況」や「学校における働き方改革」、「次年度の活動に関わる意見交流」などが行われました。

1. 活動経過報告

「活動報告」：第3回学校運営協議会資料より↓

◇活動報告◇

1. 第2回霧多布地区学校運営協議会

- 日時 9月21日（木）13:25~15:30
- 場所 霧多布中学校 美術室（1階）
- 参加人数 8名参加（出席：大野・串田・川原・箱石・佐藤・新井・諏訪・寺田）
- 議事内容

*授業参観（13:25~14:15）

- 1開会の言葉
- 2島協会長挨拶
- 3活動経過報告
- 5議事（司会：川原さん）
 - (1) 授業参観について
 - (2) 小中学校の1学期学校評価・タブレット活用
 - (3) 小中9年間でめざす子どもの姿に関わる交流
 - (4) その他



「活動報告」：第3回学校運営協議会資料より↓

2. 10月6日 霧多布地区コミスクだより(第2号)発行

○第1号に続き第2号も新聞チラシ折込みで地域へ配布。活動の様子を配信。



3. 『こいのぼり』を寄贈いただきました

これまで「霧多布地区コミスクだより」第1・2号でも呼びかけしてきました「こいのぼりの寄贈のお願い」でしたが、霧多布市街にお住いの布川様より寄贈の申し出があり、昨日お子様が学校に届けてくださいました。これで、劣化により数が少なくなってきていたこいのぼりの補充ができました。引き続き委員の皆様には、自治会の常会等の地域の集りで、ご近所のご家庭で使わなくなったこいのぼりを保管していそうな家庭がありましたら、呼びかけをお願いいたします。



☆浜P連研究大会 オンライン形式で開催

昨年度はコロナ禍で中止となった浜P連研究大会ですが、今年度は11月7日（日）各校に会場を分散（自宅での視聴も可）してのZoomによるオンライン形式での開催となりました。大会では、霧多布地区から2名の方が表彰されました。また、NPO法人お助けネット 中谷通恵様による「スマホ・ネット・ゲーム～心と体を守り、未来につながる使い方を考えよう～」の講演も行われ、ネット社会で生きていく現代の子たちの未来について、有意義なお話を聞くことができました。

表彰者

霧多布小学校 PTA 笹 誠 様 H29~R2の4年間 PTA 副会長を歴任
霧多布中学校 PTA 新聞 亜抄美 様 R2 PTA 監査、R3 PTA 副会長を歴任

2. 小中学校の具体的な活動推進状況

前回の学校運営協議会後の小中学校の様子について各校から報告がありました。学校行事の様子、全国学力学習状況調査の結果、いじめアンケート11月分実施の結果などが報告されました。詳しい内容については学校だよりにも掲載されていますので、そちらもあわせてご覧ください。



3. 第3回学校運営協議会 意見交流

・最近子ども達の殺傷事件がニュースになっている。ラインなど SNS で嫌な思いをしている子どもも多いのでは。気にしてほしい。子どものナイフ所持のチェックなど学校側の対処（玄関での持ち物検査など）も実際は難しいだろう。子どもたちの心の変化をしっかりと見ていく。車の事故なども気になる。地域の目でも子供たちの安全確保を見守っていききたい。

・浜中町役場へ続く道路が新しくなって交通量が増えた。新庁舎の坂が急で、速い速度で車が走っていることが心配だ。文化センター、診療所前の交差点道路の横断歩道に押しボタン式の信号があるとよいのではないか。何か事故があってからでは遅いので…。→上記の心配は学校や水取場自治会などでも出ていて、町教委と共に厚岸警察署への要望書作成を進めています。

(次年度のCS活動に係る交流)

テーマ「霧多布地区で学べる職業体験」

※地域の職業体験の幅を広げ、子供たちの将来の夢を広げよう！

- ・現状の体験場所の他に体験場所はないか？
- ・職業体験で学んでほしいこと。地域の大人の願い

・浜中の産業に触れてもらって、浜中を好きになってもらいたい。

・(中学校の職場体験先としては公共施設が多いが)霧多布地域の個人経営の方へも(CSから)声掛けをすれば協力してもらえるのではないか。

【候補】：搾乳体験、お寺、商工会など

・CS委員としては、産業団体への働き掛けもできる。また、活動の際には、お世話(サポート)しながら様子を見ることも可能。



・浜中のことを知ってもらえることは素晴らしい。浜中は雇用が少ないが、帰ってくる子(浜中で働く子)が増えてほしい。

・小学校では見学、中学校から職業体験でいいのではないか。小学生に一次産業の体験は無理ではないか。受け入れ側も大変だと思う。

《小学校からの補足説明：小学校の職業体験はまずは高学年から考えています。今の小学生は十分相手意識も育っており、しっかりと主体的に体験活動ができると思っています。小学校での経験を受け、さらに中学校で“働くこと”について深められると考えます。》

・地域の人たちと関わりを持つことは、地域への学校の貢献にもつながる。(例：児童生徒のあいさつで笑顔が増える
→地域が明るくなる。手を挙げて横断歩道を渡る姿を見せることで、地域の交通安全への意識も高まる。)



※地域の皆様、次年度CS委員や学校より声がかかった際には、霧多布小中学校の「職業体験活動」にご協力をお願いします。

学校運営協議会の今後の日程と協議

(1) 次回会議 令和4年2月4日(金) 18:00~19:00 霧多布小学校会議室

(2) <内容(予定)>

①今年度の成果と課題 ②次年度の活動の方向性 ③学校関係者評価

新型コロナウイルス感染防止対策のため、学校行事も参加者を限定せざるをえない状況が続いております。各校のホームページでは、学校だよりを始め、学校での児童・生徒の活動の様子を紹介しています。ぜひご覧ください。

霧多布小学校



霧多布中学校



「霧多布地区コミスクだより」No. 3 ・発行日 令和3年12月22日

・発行者 霧多布地区学校運営協議会(事務局：霧多布小学校 TEL 0153-62-2812)